

令和4年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第1四半期 (R4年4～6月)

①業種及び地域別景気動向

業 種	製造業		建設業	卸・小売業			サービス業			
	食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸	
町 内	売上額	→☂	↗☀	→☁	→☁	→☁	↘☂	↗☂	↘☂	→☂
	仕入単価	↗☀	→☂	→☂	↘☂	↗☁	↘☂	↗☁	→☂	→☂
	採 算	→☂	↗☀	↗☁	→☂	↗☁	→☂	↗☂	→☁	→☂
	資金繰り	↗☁	→☁	↗☁	↘☂	→☁	↘☂	↗☁	↘☁	→☂
	業界の業況	↗☁	↗☀	↗☁	↗☂	↗☀	→☂	↗☁	→☁	→☂
北 信	↘ 悪化		↘ 悪化	↘ 悪化		↗ 改善	↘ 悪化		→ 不変	
県 内	持ち直しの動きに弱さがみられる									
全 国※	-24.5↗	-23.1↗	-44.9↗	-40.3↗		-29.9↗	-27.7↗			

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

≪町内≫

- 住宅リフォーム補助金による売上増加が見込まれる (塗装業)
- 善光寺御開帳の影響により好転したのでは (飲食料小売店)
- 物価高騰により消費者の節約志向が気になる (理美容店)
- 材料高騰と工期の遅れによる資金繰りの悪化が心配である (建材卸)

≪北信≫

- アルミ・ステンレスの価格が毎月上昇 (工作機械)
- ロシア産の単板など一部木材の輸入が禁止されウッドショックに追い打ちをかけている (一般建築)
- 土物野菜の高騰が売上げに響いている (青果卸)
- 個人客の動きに増加が見られるが、相変わらず団体客の見込みは悪い (旅館)

≪県内≫

- ロシアのウクライナ侵攻による資源価格高騰等の影響や個人消費の動向に注視する必要がある

≪全国≫

- 産業全体：売上好調も、コスト増加分の価格転嫁に踏み切れず、採算・資金繰りに苦しむ
- 製造業：受注は好調も価格転嫁が進まず、採算・資金繰りに苦しむ
- 建設業：価格高騰による採算の悪化や資材の入手難による工期延長で資金繰りに苦しむ
- 小売業：売上好調を維持も、価格転嫁に苦慮する
- サービス業：価格高騰により、採算・資金繰りが厳しく、回復基調から悪化

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」
日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」